

4月5日

テーマ：ふさわしい助け手

聖書箇所：創世記2章15節～25節

◆今日のみことば

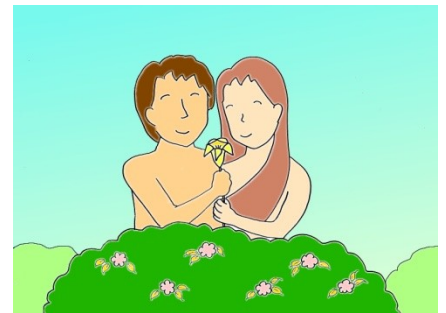
「人が、ひとりでいるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。」創世記2章18節

◆メッセージ

学校や幼稚園で、みんなで力をあわせてなにかをやったことがありますか？ブロックで大きなロボットを作ったり、劇をしたり、みんなで声を合わせて歌を歌ったり。ひとりでやるのもいいけれど、みんなでやるともっといいものができるし、だいたい声をあわせてうたうなんて、ひとりじゃできないね。

神さまは、人間の中で最初に男の人アダムさんをお造りになりました。そして、アダムさんにすてきなエデンの園を守る仕事をくださいました。でもアダムさんはひとりぼっち。動物はたくさんいますが、お仕事するなかまはいませんでした。だいじなお仕事をするのに、ひとりではさびしいですね。そこで神さまは、アダムさんにすばらしい「助け手」を造ってくださいました。「助け手」というのは、助け合っていっしょにお仕事をする人のことです。その人は、エバさんという女の人でした。

アダムさんは本当にうれしくて、エバさんと結婚しました。ふたりいっしょなら、こまったときも、かなしいときも、はげましあうことができます。うれしいときはいっしょによろこぶことができます。神さまはアダムさんに、すばらしいプレゼントをくださったのです。神さまはわたしたちがみんなで力を



あわせて、神さまのためにいろいろなことをするように、たくさんの人を造ってくださいました。かぞくやおともだち、わたしたちのまわりの人はそのためにいます。男の人だけではなく、女の人だけでもなく、男の人と女の人の両方がいるのもそのためです。

みんなは家族がいてうれしいなあ、おともだちがいてうれしいなあ、と思いますか。神さまが、すてきな人たちをわたしたちのまわりにおいてくださったことを感謝しましょう。そして、いっしょに力をあわせて、神さまのためのお仕事をしましょう。みんなにもできるお仕事がきっとありますよ。

◆お祈り

「わたしのためにすてきな家族、おともだちをくださってありがとうございます。みんなで、神さまのためにお仕事をすることができますように。」

(国立キリスト教会牧師 本澤敬子)